

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCOLO東淀川		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 20日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「適切な支援の提供」 ・子どもへの理解と専門性のある支援 ・子どもと保護者のニーズを把握した上での個別支援計画の作成 ・解放感あふれる療育室での活動プログラムの工夫	・心と身体を両立した療育を行っている。 ・その日一日の様子を記録し、職員間で共有している。 ・担当者が中心となり、レクリエーションや製作活動に取り組んでいる。	・更にたくましく前向きな心の育成に取り組んでいく。 ・バリエーションを持たせた計画を立て、確実に実行していく。
2	「保護者への説明等」 ・共感的な支援 ・子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮 ・SNS等での発信	・保護者の状況を鑑みて、対面や通話等話しやすい環境で支援を行っている。 ・インスタグラムで日々の様子を発信している。	・送迎時以外にもコミュニケーションアプリなどのツールを更に活用し情報の共有に努める。
3	「満足度」 ・安心感をもった通所 ・通所を楽しみにしている ・支援に対する満足度	・子どもたちと日々コミュニケーションを取り、信頼関係の構築に努めている。 ・送迎時、その日の様子などを保護者に共有している。	・おでかけやイベントなどを更に充実させる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「ペアレント・トレーニング等」 ・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会の機会	・送迎時のお送りの際を中心に、対応などの提案を心がけていますが、各種研修会やペアレント・トレーニングを開催するまでは人員整備や取り組みが至っておらず、今後の課題と考えております。	・送迎時のお送りの際や面談の機会に、対応などの提案を引き続きおこなってまいります。また必要に応じて外部研修によるペアレントトレーニングをご案内してまいります。
2	「保護者への説明等」 ・保護者会等の開催や保護者同士の交流の機会	・夏祭りイベントの際に、保護者ご家族様にご来所いただき、日々の支援にもご意向を確認して来所いただきましたが、周知やご案内が充分でありませんでした。	・各種イベントの際や、保護者ご家族様のご意向に応じて、開かれた事業所運営をおこない、今後は情報発信と交流の機会を増やし内容を充実していきたいと考えております。
3	「非常時等の対応」 ・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の策定と周知・説明および非常災害の発生に備えた必要な避難訓練	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、自然災害BCPマニュアル、感染症BCPマニュアル等の策定と研修ならびに避難訓練を定期的に行っているが、保護者への共有が不足している。	・今後も研修ならびに避難訓練を拡充していくと共に、保護者の来所時や送迎時に各種マニュアルの策定内容等の情報共有を深めることで、周知に努めてまいります。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	COCOLO東淀川				公表日	2026年3月10日	
		利用児童数	19名様		回収数	15名様	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13			2	今いるような先生たちがもっと増えてくれたら嬉しいです。	新規採用にも力をいれらると共に、必要に応じて系列事業所と連携協力して追加増員を図っていきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	14			1		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	3		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	1		5		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	2	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15				いつも送迎の際に丁寧にその日の様子をお伝えし教えていただいています。	今後も丁寧にお子様の様子をお伝えし助言や提案をおこなうなかで更なる共通理解をすすめてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14			1	子どもになにか問題が起きた際には寄り添っていただきとても心強いです。	資格所有者をはじめ全職員がお子様親御様の想いに共感しつつ寄り添った支援を継続してまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	3	8		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			7	作成されていると思います。	各種マニュアルを策定し、委員会・研修・訓練を定期的実施しています。今後周知をおこなってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				いつも親子共に手厚く支援していただきありがとうございます。	資格所有者をはじめ全職員がお子様親御様への更に手厚い支援を引き続きおこなってまいります。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	COCOLO東淀川		公表日	2026年3月10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	90㎡以上の解放感あふれるスペースを確保するとともに、プログラムに応じてエリアを分けたり個室を活用して療育に取り組んでいます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	5	指定基準を満たしており、職員が少ないと判断した場合には系列事業所と連携協力して職員の増員を図っています。	新規採用を積極的にすすめると共に、必要に応じて系列事業所と連携協力して追加増員を図っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	お子様にもわかりやすく開放感あふれる環境づくりに努めており、必要に応じてスロープを設置することでバリアフリー化をすすめています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	日頃から衛生管理を徹底し、喚起や消毒、手洗いをおこなって清潔な環境を整えており、心地よく開放感あふれる環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	相談室などの個室を利用して、個別課題や、集中して取り組む療育課題に取り組んでいます。今後も清潔で安心して過ごせる環境を提供いたします。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	定期的な面談や会議と日々の朝礼などを通じて、お子様の最善の利益を探索し、改善すべき点に優先順位をつけて改善に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	当事業所のホームページで公開しています。今回の評価表の内容に基づいて業務改善に繋げてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	定期的な面談や、朝礼や会議で皆の意見を把握し業務改善につなげる取り組みを日々おこなっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	東淀川区や淀川区の事業所と担当者会議の機会等に療育の様子を評価していただき、業務改善につなげています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	地域部会の研修会参加や、外部研修の案内と共に、スキルアップの為の社内研修会等を定期的にも実施しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	専門家や国家資格保持者が発案したプログラムを用い適切な療育方法を検討し支援プログラムを作成し公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	2	当社指定アセスメントシートを使用し、医療機関からの情報や発達検査の結果等も踏まえ児童と保護者のニーズを客観的に分析して作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	児童発達支援ガイドラインと本人支援の5領域に基づき、関わる職員の共通理解の下で児童にとって最善の支援内容を設定しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	朝礼、定期的な会議やモニタリング時に職員間で支援計画に沿った支援を行っているかの確認を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	標準化されたアセスメントと共に、日々のお子様の様子や活動を書面で控えると共に、会議を通じて多角的な視点で確認をおこなっています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	児童発達支援ガイドラインと本人支援の5領域に基づき、児童発達支援管理責任者のもと児童指導員や保育士、有資格者との共通理解の下で、児童にとって最善の支援内容を具体的に設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	児童発達支援管理責任者のもと、保育士、児童指導員、有資格者らが協力して適切な療育方法を検討し活動プログラムを作成しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	音楽・運動・ダンス・製作・言葉・外出・ルール・集団・季節等、担当者を変更しつつ多角的な活動プログラムを実施しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	お子様それぞれの発達に応じて、集団活動と個別活動を組み合わせた支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	業務開始前に朝礼やミーティングを行い、役割の確認と業務分担をチームで行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	支援終了後に職員間で支援の振り返りをおこない、その日の支援記録を確認することで気付いた点や課題を共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の支援記録の内容を記録し共有することで日々の検証・改善に取り組み、PDCAサイクルにつなげています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2	モニタリングを定期的に行い、職員ミーティングで支援内容の見直しの必要性を常時検討しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	2	自立支援と日常生活の充実、創作活動、外出を通じた地域交流の機会や余暇活動の提供を組み合わせた日常的療育をおこなっています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	2	複数の活動プログラムや選択肢を用意し、絵カード等を用いてわかりやすく本人が自己選択と自己決定ができるよう支援をおこなっています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	お子様への日常的な療育や状況に精通した職員がサービス担当者会議等の各種会議に参画し出席しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	必要に応じて、主治医の指示書や意見書をお預かりして、学校等の各種関係機関と連携共有する支援体制のもとで療育をおこなっております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	学校の年間計画や行事予定、子どもの下校時刻の確認を常時おこないながら、学校行事を優先しつつ送迎時の対応や時間調整をおこなっています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	就学前に利用していた認定子ども園や児童発達支援センター等と情報共有と相互理解を図り、お子様の特性や状況の把握に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	保護者の了承を得たうえで個別支援計画書の内容や日々の活動の様子などの取り組みの情報提供をおこなうことで移行支援をおこなっています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	児童発達支援センターへ訪問して連携をはかり、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	外出支援の際に地域の公園で、地域の子どもたちや小学校の子どもたちとの挨拶や交流をおこなっています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	地域の自立支援協議会こども部会への参加を積極的に取り組んでいます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎のお送りの際に子どもの発達の状況や課題について報告を行うと共に必要に応じて個別に相談の時間を設けています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	送迎時のお送りの際を中心に、対応などの提案を心がけています。また必要に応じて外部研修による「ペアレント・トレーニング」をご案内しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	見学時や契約時の来訪の時に詳しくご説明をさせていただいており、変更改定された内容は、適宜ご案内しております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	お子様や保護者の意思を尊重し、子の最善の利益を優先しながら、子やご家族の意向を定期的にお伺いする機会を設けています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	アセスメントとモニタリングの後に、放課後等デイサービス計画書を示しながら説明をおこない保護者から同意を得ています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	ご利用いただいた送迎のお送りの際に子どもの発達 の状況や課題について報告を行うと共に必要に応じ て個別に相談や面談の時間を設けています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	5	夏祭りイベントの際に、保護者ご家族様にも来所い ただき、日々の支援にもご意向を確認して来所いた だいておりましたが、今後は情報発信の機会を増や していきたいと考えております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 応しているか。	8	0	相談や苦情の申し入れがあった場合、電話や面談に て迅速かつ適切に児発管や管理者、児童に精通した 職員が対応するよう受け付けています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対し て発信しているか。	8	0	Instagram等のSNSで活動記録を情報発信していま す。行事等は受け渡しの際に、お知らせ書面を配布 しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	職員に個人情報の取扱いについての研修及び指導を 行っています。今後も個人情報保護に充分な配慮と 取り組みを行ってまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を しているか。	7	1	絵カードや写真、イラスト、スケジュール表などを 用いた視覚支援や筆談などを行い、その方の特性に 応じて必要な配慮をおこないます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。	5	3	防災訓練、避難訓練の際に、隣接店舗や地域住民の 方々と連携した事業運営をおこなっており、今後も 地域交流に取り組んでまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発 生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	事故防止、緊急時対応、防犯、非常災害時対応、 BCP、感染症予防・対応等の各マニュアルを策定 し、定期的に研修をおこなっています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	感染症BCPおよび自然災害BCPを策定しており、定 期的に研修、避難、救出等の訓練をおこなっていま す。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認して いるか。	8	0	契約時にお子さまの状況について確認し、今までの 経緯と症状に応じた判断や、非常時の連携機関など 状況に合わせた対応方法を確認しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が されているか。	7	1	契約時や更新時にお子様について確認し、ア レルギーの有無と対応方法について確認していま す。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置 を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	安全計画を作成し、研修、点検、訓練の担当を決め て定期的に訓練を実施し安全管理につとめた運営を おこなっています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計 画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	こどもの安全確保のための安全計画に基づく説明や 避難訓練ならびに防災訓練をおこなった取り組みを 送迎時のフィードバック等で周知しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検 討をしているか。	8	0	ささいなことでも報告書に記載しミーティングを通 して職員で共有することで、発生を未然に防ぐ意識 を高め、再発防止の方策を日々検討しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし ているか。	8	0	社内の虐待防止委員会において虐待防止研修をおこ ない、職員間でも定期的に研修のなかで適切な対応 を学び確認しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決 定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後 等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	組織的に決定した内容を契約時に説明し、了承を得 ています。必要に応じて児童発達支援計画に記載し 反映しています。	